

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



未来の生物多様性を守る『30by30』

『30by30』は、環境問題の重要な課題である生態系保全の有効手段のひとつと考えられ、今、世界で注目されています。本号では『30by30』の基礎知識や実現に向けた施策についてお伝えします。

30by30とは

30by30とは、『ネイチャーポジティブ（生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること）』というゴールに向け、2030年までに陸域の30%と海域の30%の保全・保護を目指す目標です。2021年6月開催のG7サミットにおいて、G7各国は30by30を進めることに合意しています。日本では、COP15（国連気候変動枠組条約締約国会議）で決定された愛知目標（2020年までに陸域の17%、海域の10%以上を保全する）20の内、11を達成しているものの、それ以上の結果を目指す30by30を達成するには一層の努力が必要な状況です。

30by30達成に向けたロードマップ策定

日本では30by30を実現させるため、ロードマップを策定しました。その主要な取り組みには次のものがあります。

1. 保護地域の拡大

自然保護地域を拡大し、生態系や生物多様性の保護を強化するための措置を計画

2. OECMの設定

他の有効な地域でも生態系の保全が行われるよう、その他の効果的な保護措置（OECM）の設定を検討

3. 生物多様性などの見える化

生物多様性や他の環境指標を監視し、進捗を定量化するための情報の収集や分析の実施

4. 質を高める取り組み

保護地域やOECMの設定だけでなく、その管理や維持を向上させるための取り組みを実施

5. 関連施策との連携

他の関連政策や施策との連携を強化し、生物多様性の保全や持続可能な資源利用の総合的かつ効果的な推進

これらの取り組みには、国や地域、事業者そして一人ひとりの力を結集することが不可欠です。

環境省の『自然共生サイト』認定開始

また環境省は2023年度から『自然共生サイト』の認定を始めています。これはネイチャーポジティブの実現に向けて、「民間の取り組みなどによって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する仕組みで、30by30目標達成の足懸りとなっています。2023年10月の初めての認定発表では大手企業が管理する森林など122カ所が選ばれました。『自然共生サイト』の認定は、保有する企業や団体が生物多様性への取り組みを明示化し、投資家や一般消費者、利用者などへのPRに繋がり、企業価値の向上が見込めるといった企業側のメリットもあり、注目されています。

自然と共生する世界に向けて

未来の生物多様性を守るためには、30by30の目標を達成する活動を包括的に実施し、地球の健全な生態系保護を進めていき、豊かな恵みを育むことが重要です。

私たちシェルグループも、生態系保全を目指す企業として、環境問題に対する取り組みを強化し、積極的に活動していきます。



トコジラミの危機を乗り切る

予防+駆除プログラム『トコジラぬ』

シェルグループの『トコジラぬ』とは？

シェルグループは1960年に創業して以来、ペストコントロール業を主体とした環境衛生事業を展開しています。

現在、私たちが注力している事業が、昨今、後を絶たないトコジラミ被害への対策です。日本では2010年頃から再流行の兆しがありましたが、コロナ後、2023年秋頃頃から、フランスや韓国を中心にトコジラミの被害が相次いで報告され、その後、日本の首都圏をはじめ全国各地で被害が拡大しています。その発生場所は多様で、宿泊施設、公共交通機関、病院、オフィスなど、様々なところで被害が報告されています。また、通常のトコジラミの1,000倍の薬剤耐久性を持つ『スーパートコジラミ』の出現や、インバウンドの回復など、さまざまな要因が重なり、今後も一層の被害拡大が見込まれています。これらの問題から、シェルグループではこれまで培った防除技術と知見を応用し、トコジラミに特化した予防・駆除サービスの特設ホームページ『トコジラぬ』を開設しました。

『トコジラぬ』の概要

『トコジラぬ』は、発生させない『予防』から安心安全を取り戻す『駆除』までのトータルサポートをワンストップで提供するプログラムサービスです。2024年1月に弊グループが行ったマーケティング調査では、一般的な実態として、トコジラミの存在とその被害に対する認知は比較的高く、具体的な特性や対策方法に関する知識は不足している傾向があることが分かっています。このことから、トコジラミの基礎知識から、実際に被害に遭った場合の運用なども掲載し、トコジラミの被害や対策に関する問い合わせに対応していきます。



『予防』を組み合わせせた対策

シェルグループはトコジラミの被害をなるべく拡散させない施策として『予防』を提唱しています。物理的・意識的な事前対策をおこなうことが『早期発見』へ繋がり、はじめて『予防』が実現します。『予防』することで被害の範囲は最小限に抑えられ施工コストが軽減されます。『予防』をしなかった場合は、『予防』していた場合と比較し、2倍近くのコストが発生します。また、被害範囲が狭まると施工時の薬剤使用量も軽減され、環境配慮にも繋がります。コストを削減するためにも、必要以上（広範囲）に薬剤を散布させないためにも、『予防』は重要であり、有効な手段となります。シェルグループでは、トコジラミ対策に『予防』という新たな手法を組み合わせ、『予防』+『駆除』のトータルサポートサービスを提供していきます。

トコジラぬ ウェブサイト

<https://www.shell-syoji.co.jp/tokojiranu/>

今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
真面目昆虫館館長



ネジロカミキリ

(根白天牛)

甲虫目カミキリムシ科

学名：Pogonocherus seminiveus

早春から春にかけてタラノキやハリギリの衰弱木で見られる体長6～8mmの小さなカミキリムシ。平地では成虫は春と秋に出現する。鞘翅の後半部や脚に生えた淡い水色の微毛が美しく、見つけると少し嬉しくなるカミキリムシの魅力。

Information

●メディア掲載情報

代表の岡部が不定期に更新しているnote。

シェルグループが64周年を迎えました。これまでの歩みや今後の抱負について、岡部の所感をお伝えしています。

<https://note.com/okb375/n/nc1b2d0593a1a>



●Pick up 展示会情報

サステナブル ファッション EXPO【春】

(※弊社は出展しておりません。)

会期：2024年4月17日(水)～4月19日(金)

会場：東京ビッグサイト

NEW環境展 (地球温暖化展)

(※弊社は出展しておりません。)

会期：2024年5月22日(水)～5月24日(金)

会場：東京ビッグサイト

Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を配信中です。

